

令和7年度「スクール読書チャレンジ運動」実施要項

1 趣 旨

県内の学校が、独自に取り組んでいる読書活動を広く募集し、優秀な活動を顕彰並びに公表することにより、各学校における自主的で創意に満ちた読書活動の推進を図る。

2 内 容

読書推進に係る各学校のアイデアあふれるイベントや企画の取組みを幅広く募集し、優秀な取組みを行った学校を表彰するとともに、県のホームページで公表する。

3 取組期間

令和7年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和7年11月30日までの取組とする。

4 応募資格

県内の学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校及び専修学校(高等課程)）とする。

5 応募方法

(1) エントリー票の提出

取組学校は、エントリー票を作成し、データ（Word版）により令和7年8月29日（金）までに佐賀県県民環境部まなび課へ電子メールで送信する。

(2) 実践報告書の提出

期間中の取組み結果を、実践報告書にとりまとめ、データ（Word版）により令和7年12月12日（金）までに佐賀県県民環境部まなび課へ電子メールで送信する。

※[E-mail] manabi@pref.saga.lg.jp

6 審 査

提出された実践報告書を、次のとおり審査する。

第1次審査：まなび課職員による審査

第2次審査：以下の審査員による審査

（佐賀県読書推進運動協議会及び佐賀県公共図書館協議会長、佐賀県教育委員会学校教育課長、佐賀県総務部法務私学課私立中高・専修学校支援室長、佐賀県学校図書館教育研究会代表者、佐賀県県民環境部まなび課長の計5名）

7 審査基準

次に掲げる5つの観点に基づき審査する。

- ① アイディアあふれる取組になっているか
- ② 読書の楽しさが伝わる取組になっているか
- ③ 今の時代を反映した取組を行っているか
例：多様性に関する図書のテーマ展示を行った。
- ④ より多くの本が活用されているか
- ⑤ 多くの団体と連携する取組になっているか

例：PTAや地域の図書館・読み聞かせグループと一緒に図書館まつりを行った等

8 各 賞

最優秀賞： 1校 賞状、副賞（図書カード3万円）

優 秀 賞： 2校 賞状、副賞（図書カード1万円）

敢 闘 賞： 10校 賞状、副賞（図書カード5千円）

9 公 表

- ・ 県ホームページで入賞校を発表する。
- ・ すべての応募作品について『スクール読書チャレンジ運動実践事例集』を作成し、県ホームページに掲載する。

10 表 彰

- ・ 最優秀校は、「司書のつどい」（令和8年2月ごろ開催）において表彰する。